赤潮・貧酸素情報（１）

令和元年７月４日

各漁業協同組合長　殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

７月３日に調査を行った結果，豊前海の全域で有害プランクトンの一種である *Chattonella marina*（ｼｬﾄﾈﾗ ﾏﾘﾅ）の増殖が確認されました。

＜プランクトンの状況＞

○ *Chattonella marina*（ｼｬﾄﾈﾗ ﾏﾘﾅ）は、豊前海では通常６～８月頃に発生し、海水１cc あたり、およそ 100 細胞程度に増えると魚がへい死するおそれがあるとされるプランクトンです。

○本種は海水１cc あたり 500 細胞以上になると、海水の変色が目視できるようになりますが、変色が確認される前の低密度の状態でも漁業被害が発生する可能性があります。

○漁獲物の港内での蓄養は避け、早めの出荷を心がけてください。

＜貧酸素の状況＞

○現在、貧酸素（酸素濃度 30％以下）は発生していません。

＜今後の状況＞

○今後、天候次第では、本種がさらに増殖する可能性が高く、また、貧酸素の発生も懸念されますので、研究所では引き続き調査を実施します。今後の情報に十分ご注意下さい。

漁業被害、海水の変色などがみられましたら，豊前海研究所（0979-82-2151、担当：恵崎、後川）までご連絡下さい。

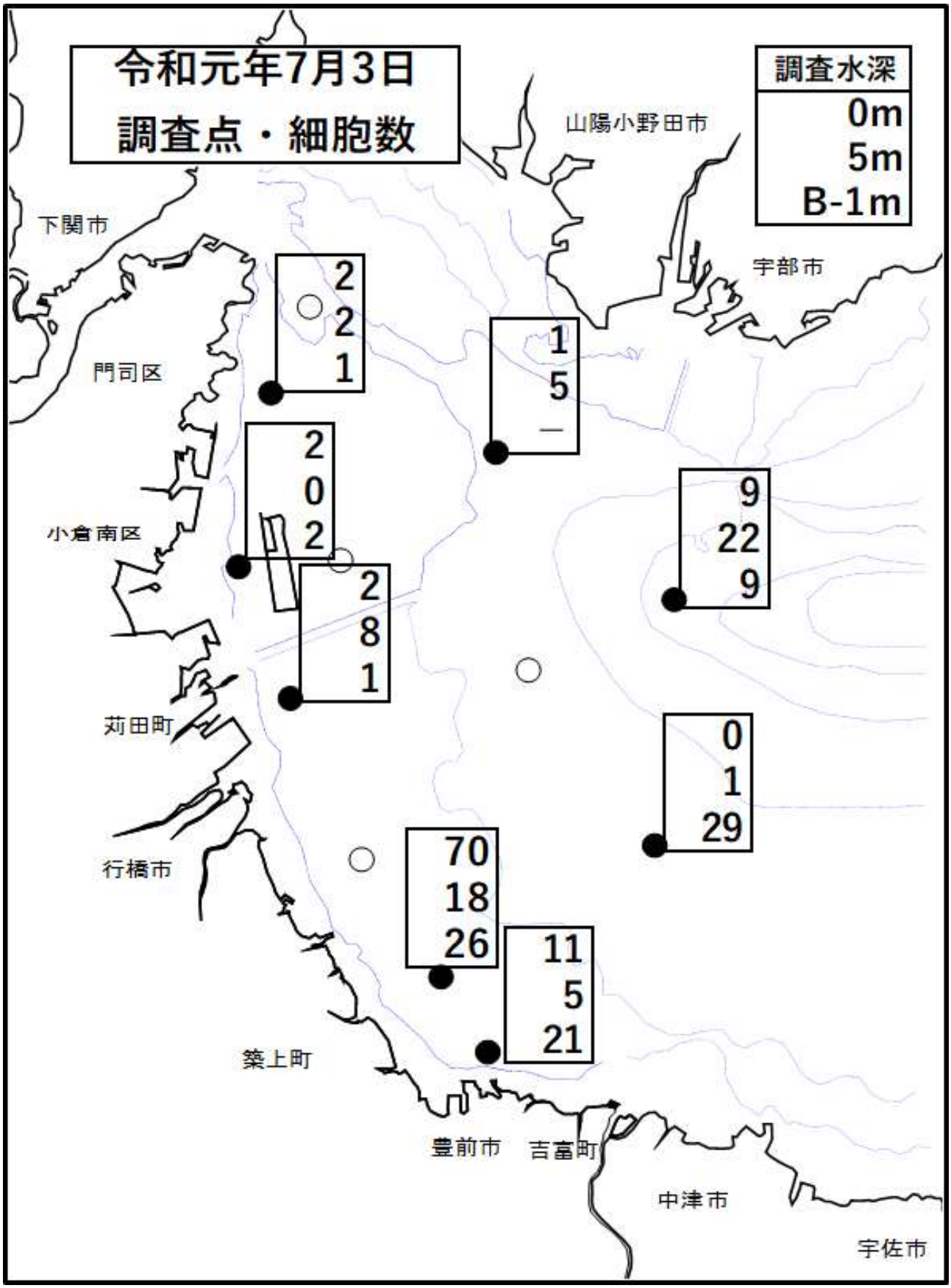

図　シャトネラ細胞数/海水 ml

表　赤潮プランクトン細胞数・酸素濃度

調査点		採水層	シャトネラ細胞数（細胞数/海水1ml）	酸素飽和度（%）
St.1	宇島地先	0m	11	109.4
		5m	5	111.7
		B-1 m	21	100.0
St.2	豊前市沖	0m	0	110.2
		5m	1	114.2
		B-1 m	29	95.8
St.3	シーバース	0m	9	110.9
		5m	22	111.0
		B-1 m	9	87.9
St.4	白野江地先	0m		101.0
		5m		99.3
		B-1 m		89.4
St.5	人工島東	0m		109.1
		5m		102.7
		B-1 m		89.0
St.7	豊前市沖	0m		108.5
		5m		109.2
		B-1 m		97.7
St.8	椎田地先	0m	70	107.9
		5m	18	108.4
		B-1 m	26	87.8
St.10	稲童地先	0m		108.3
		5m		108.3
		B-1 m		81.6
St.11	苅田地先	0m	2	108.4
		5m	8	101.3
		B-1 m	1	94.9
St.12	人工島西	0m	2	99.1
		5m	0	97.1
		B-1 m	2	95.7
St.13	柄杓田地先	0m	2	101.6
		5m	2	100.2
		B-1 m	1	91.0
St.15	門司区沖	0m	1	105.2
		5m	5	100.7
		B-1 m	－	91.4